

# 自立活動について

きのかわ支援学校

教育支援部



自立活動について説明します。今回は、島根教育センターの資料を参考にさせてもらっています。ホームページにも掲載されていますので、ぜひご覧になり、参考にさせていただいて、子どもたちの支援に生かさせていただけたらと思います。

# ① 自立活動とは（理解編）

# ② 指導のプロセスについて（実践編）



まず、ひとつめに、自立活動の基本の話をしていただきます。そして、ふたつめに、指導のプロセスについてお話させていただきます。



# 理解編



まずは、理解編です。

## 自立活動って何だろう？

特別支援学校、特別支援学級、通級による指導  
の教育課程に設けられた、個々の障害による学  
習上又は生活上の困難を改善・克服するための  
指導領域です。



自立活動は、特別支援学校、特別支援学級、通級による指導の教育課程に設けられた、個々の障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服するための指導領域です。

## 特別支援学校における教育

生活年齢に即した  
系統的・段階的な指導  
【各教科等】

＋  
関連

障害による困難さを  
改善・克服するため  
の指導  
【自立活動】

自立活動

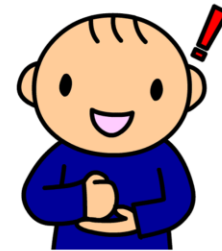
両方行うことで調和のとれた育成を目指す



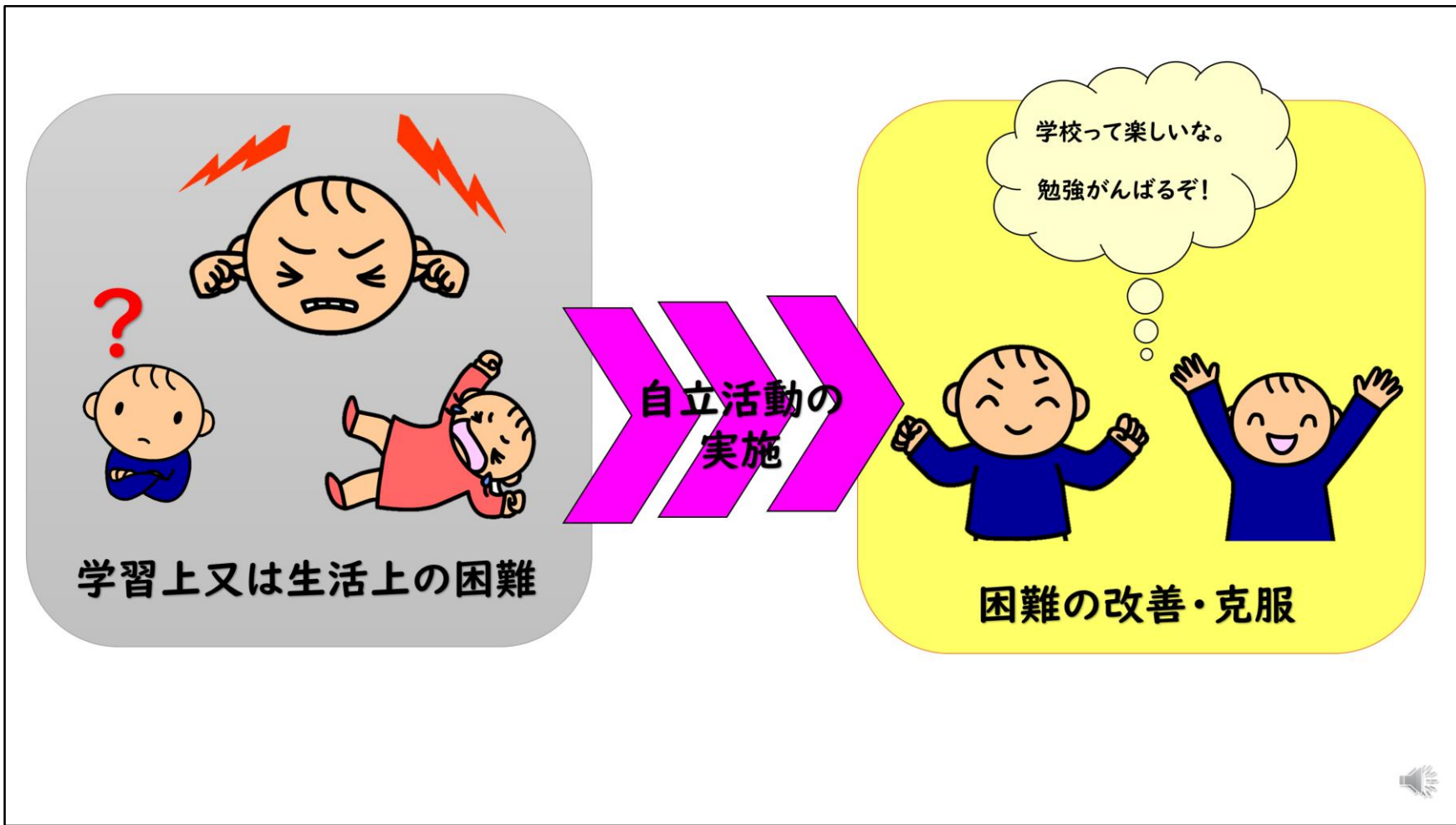
特別支援学校における教育は、各教科等と、自立活動の両方を行うことで、調和のとれた育成を目指します。

## 自立活動ってどうしてあるの？

自立活動の指導が、各教科等において  
育まれる資質・能力を支える大事な役割  
を担っているからです。



自立活動の指導が、各教科等において育まれる資質、能力を支える大事な役割を担っているからです。



障害のある児童生徒は、日常生活や学習場面において様々なつまずきや困難が生じます。このため、特別支援学校においては、小中学校と同様の各教科の他に、「自立活動」の領域を設定し、その指導を行うことによって、幼児児童生徒の人間として調和のとれた育成を目指しています。

## 自立活動の目標ってなんだろう？

個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う



特別支援学校学習指導要領において、自立活動の目標は、個々の児童又は、生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。と示されています。



# 自立

幼児・児童・生徒がそれぞれの障害の状態  
や発達などに応じて、主体的に自己の力を  
可能な限り発揮し、よりよく生きようと  
すること。



自立活動の目標に示されている、「自立」とは、幼児・児童・生徒がそれぞれの障害の状態や発達などに応じて、主体的に自己の力を可能な限り発揮し、よりよく生きようとする事です。「主体的」ということがポイントになると思います。

## 心身の調和的発達の基盤を培う

発達の遅れや不均衡を改善したり、発達の  
進んでいる側面をさらに伸ばしたりすること  
によって、遅れている側面の発達を促すとと  
もに全人的な発達を促進すること。

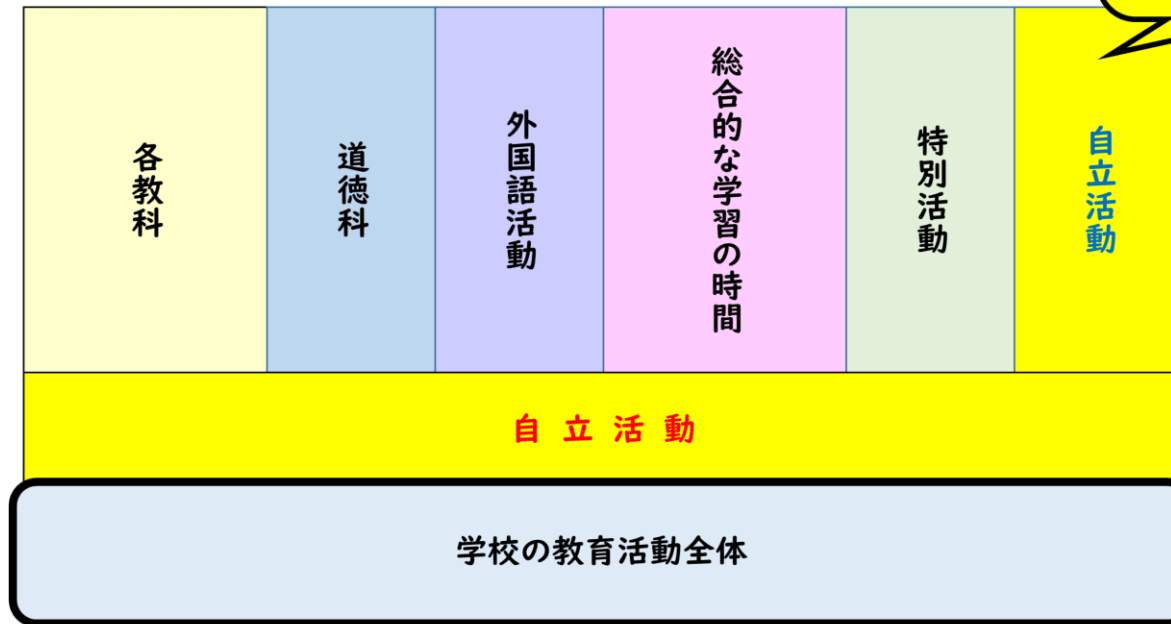


また、「心身の調和的発達の基盤を培う」とは、発達の遅れや不均衡を改善したり、発達の進んでいる側面をさらに伸ばしたりすることによって、遅れている側面の発達を促すとともに、全人的な発達を促進することです。自立活動は、一人ひとりの実態に対応した活動であり、よりよく生きていくことを目指した主体的な取り組みを促す教育活動です。

自立活動はいつするの？

各教科等における自立活動の指導

自立活動の時間における指導



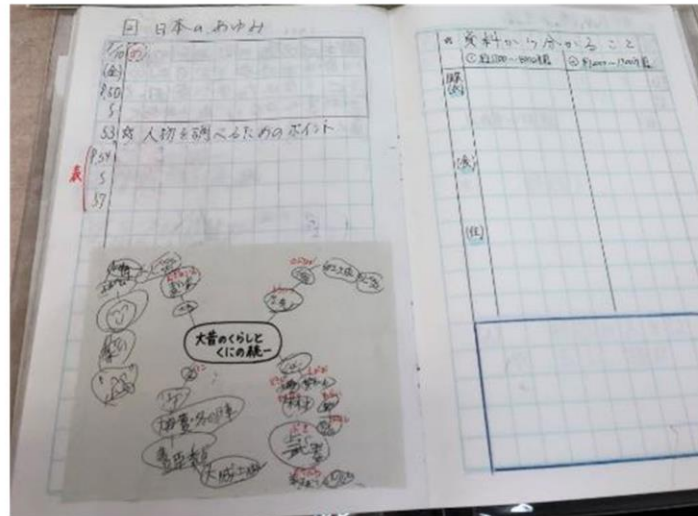
自立活動の時間における指導と、各教科等の指導を通じて行うものがあります。自立活動の指導は、学校の教育活動全体を通じて行うものです。



# 各教科等における自立活動の指導

## ノートの構造化

書字が難しい子の負担を減らす。



たとえば、書字が難しい子の負担を減らすため、ノートに枠を事前に書き、どこに書けばよいかを示しておくことで、主体的にノートに書き写すことができることも、教科における自立活動の指導です。

## 各教科等における自立活動の指導

# 1時間の予定を視覚化する

不安が強い子に見通しを持てるようにする。

さん 学習メニュー	
( / ) 時間目	国語・算数
やること	合
めあて	
1 (3) ①~⑤ テスト	
2 新しい漢字	
3 白いぼうしプリント	
4	

1時間の予定を視覚化することで、見通しを持つことができ、主体的に集中して授業に参加することができることも、教科における自立活動の指導です。

## 自立活動の指導の時間

# 手指の巧緻性を高める

えんぴつを持って書く力につながる。



これは、自立活動の時間における指導です。手指の巧緻性を高めるため、ビーズ通しの活動をしています。手指の巧緻性が高まることで鉛筆を持って書く力につながります。

# 自立活動の内容ってなんだろう？

## 6区分27項目

<b>1 健康の保持</b>	<b>2 心理的な安定</b>
(1) 生活のリズムや生活習慣の形成に関する事 (2) 病気の状態の理解と生活管理に関する事 (3) 身体各部の状態の理解と養護に関する事 (4) 障害の特性の理解と生活環境の調整に関する事 (5) 健康状態の維持・改善に関する事	(1) 情緒の安定に関する事 (2) 状況の理解と変化への対応に関する事 (3) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関する事
<b>3 人間関係の形成</b>	<b>4 環境の把握</b>
(1) 他者とのかかわりの基礎に関する事 (2) 他者の意図や感情の理解に関する事 (3) 自己の理解と行動の調整に関する事 (4) 集団への参加の基礎に関する事	(1) 保有する感覚の活用に関する事 (2) 感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事 (3) 感覚の補助及び代行手段の活用に関する事 (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する事 (5) 認知や行動の手がかりとなる概念の形成に関する事
<b>5 身体の動き</b>	<b>6 コミュニケーション</b>
(1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事 (2) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関する事 (3) 日常生活に必要な基本動作に関する事 (4) 身体の移動能力に関する事 (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事	(1) コミュニケーションの基礎能力に関する事 (2) 言語の需要と表出に関する事 (3) 言語の形成と活用に関する事 (4) コミュニケーション手段の選択と活用に関する事 (5) 状況に応じたコミュニケーションに関する事



6区分27項目です。自立活動を考える上でよく目にする表だと思えます。

個別の指導計画を作成するので個別指導  
の形態で行われることが基本です。

しかし



指導目標を達成する上で効果的な場合には、  
集団を構成して指導することも考えられます。



基本的には、個々の実態に合わせて課題設定をしていくので、個別指導の形態で行われますが、指導目標を達成する上で、効果的な場合には、集団を構成して指導することも考えられます。



# 個別指導

- ・ 刺激の調節、学習環境の構造化
- ・ 一人一人の課題に応じた指導



個別指導の様子です。刺激の調節をし、学習環境を整え、一人一人の課題に応じた指導を行います。その際、衝立などで、学習の環境を整えることも有効的です。

# 集団指導

関わり合いを通じて  
コミュニケーション能力  
の向上をはかることが  
できる



そうだとするときのやくそく  
★ うなずく、へんじ  
★ はなす人のほうをむく  
★ かんがえたこと、おぼえたことを  
つたえる。

きめかた  
★ たすうけつ  
★ ジャパン



関わり合いを通じてコミュニケーション能力の向上をはかる事を目標とする場合、集団での指導を実施します。

# ②指導のプロセス編



続いて、指導のプロセスです。

①実態把握（情報収集・整理）



②指導すべき課題の整理



③指導目標の設定



④項目の選定



⑤具体的な指導内容の設定



①実態把握をし、②指導すべき課題の整理をします。③指導目標を設定します。④項目の選定をします。⑤具体的な指導内容の設定をします。

① 実態把握（情報収集・整理）



② 指導すべき課題の整理



③ 指導目標の設定



④ 項目の選定



⑤ 具体的な指導内容の設定



まず、1番実態把握です。

# 実態把握の方法として・・・

## 引き継ぎ文書から

- ・ 個別の指導計画
- ・ つなぎ愛シート
- ・ 検査結果等

## 担任の目で

- ・ 学習の様子から
- ・ 集団の中での様子から
- ・ 本人とのやりとりから

## 人から

- ・ 関係機関から（医療、福祉、教育相談）
- ・ 保護者から

実態把握シートの活用

個別の指導計画や、つなぎ愛シート、検査結果等から実態把握します。そして、学習の様子や、集団でのやりとり、本人とのやりとりから、実態把握します。また、医療、福祉、教育相談や保護者からも情報を得ます。そして、幼児・児童・生徒の実態を知る視点として、実態把握シートを活用していきます。実態把握シートについては、後で説明します。

## 子どもの姿

### 得意なこと、頑張っていること、好きなこと

- ・タブレットを使うことが得意である。
- ・漢字の読み書きに対する意欲はある。
- ・興味のあることでは、楽しく友だちと話しをすることができる。
- ・カードゲームが好きである。

得意なことなどを把握することは、支援を検討していく上で重要なことです。

### 苦手なこと、困っていること

- ・漢字の読みが覚えられなかったり、すぐに忘れてたりする。
- ・文章の読解が難しい。
- ・行動を止められたときに、気持ちが乱れることがある。
- ・注意や集中を持続して学習に取り組むことが難しい。
- ・筆圧が弱い。
- ・話を最後まで聞かず自分の話を始めるので友だちとトラブルになることがある。

生活上または学習上の困難を記入します。

まず、子どもの姿を様々な観点から捉え、生活上、学習上の困難を記入します。自立活動を進める上では、本人が得意なことや頑張っていることなどを把握することが重要です。

①実態把握（情報収集・整理）



②指導すべき課題の整理



③指導目標の設定



④項目の選定



⑤具体的な指導内容の設定



次に、指導すべき課題の整理です。



健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動を止められたときに、気持ちが乱れることがある。(1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・注意や集中を持続して学習に取り組むことが難しい。(4)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の読みが覚えられなかったり、すぐに忘れてたりする。(2)</li> <li>・文章の読解が難しい。(2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆圧が弱い。(3)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話しを最後まで聞かず自分の話を始めることがある。(5)</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>心理的な安定</b> <b>(1) 情緒の安定に関すること</b></p>					

**6区分27項目**  
**即して整理していきます。**

先ほど書いた子どもの実態を、6区分27項目に整理していきます。例えば、「行動を止められたとき、気持ちが乱れることがある」という実態は、心理的な安定の(1)情緒の安定に関することの項目に区分されます。同じように、その他の実態も整理していきます。

①実態把握（情報収集・整理）



②指導すべき課題の整理



③指導目標の設定



④ 項目の選定



⑤具体的な指導内容の設定



次に、指導目標の設定です。

めざす子どもの姿

・教師と本児で約束した時間の間は、集中して学習に取り組むことができるようになる。

少しがんばったらできそうな具体的な目標をたてる。

1年後に目指す姿を設定して書く。

実態把握をもとに、1年後をイメージし、優先して取り組みたいことに対し、達成できそうな指導目標を設定します。ここで大切なのは、スモールステップで目標を設定していくことです。少しがんばったらできそうな具体的な目標を立てます。

①実態把握（情報収集・整理）



②指導すべき課題の整理



③指導目標の設定



④項目の選定



⑤具体的な指導内容の設定



次は項目の選定です。

	1 健康の保持	2 心理的な安定	3 人間関係の形成	4 環境の把握	5 身体の動き	6 コミュニケーション
選 定 さ れ た 項 目	<input type="checkbox"/> (1) 生活のリズムや生活習慣の形成に関する事	<input checked="" type="checkbox"/> (1) 情緒の安定に関する事	<input type="checkbox"/> (1) 他者とのかかわりの基礎に関する事	<input type="checkbox"/> (1) 保有する感覚の活用に関する事	<input type="checkbox"/> (1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事	<input type="checkbox"/> (1) コミュニケーションの基礎能力に関する事
	<input type="checkbox"/> (2) 病気の状態の理解と生活管理に関する事	<input type="checkbox"/> (2) 状況の理解と変化への対応に関する事	<input type="checkbox"/> (2) 他者の意図や感情の理解に関する事	<input checked="" type="checkbox"/> (2) 感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事	<input type="checkbox"/> (2) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関する事	<input type="checkbox"/> (2) 言語の需要と表出に関する事
	<input type="checkbox"/> (3) 身体各部の状態の理解と養護に関する事	<input type="checkbox"/> (3) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関する事	<input type="checkbox"/> (3) 自己の理解と行動の調整に関する事	<input type="checkbox"/> (3) 感覚の補助及び代行手段の活用に関する事	<input checked="" type="checkbox"/> (3) 日常生活に必要な基本動作に関する事	<input type="checkbox"/> (3) 言語の形成と活用に関する事
	<input type="checkbox"/> (4) 障害の特性の	<input type="checkbox"/> (4) 障害の特性の	<input checked="" type="checkbox"/> (4) 集団への参加の基礎に関する事	<input type="checkbox"/> (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する事	<input type="checkbox"/> (4) 身体の移動能力に関する事	<input type="checkbox"/> (4) コミュニケーション手段の選択と活用に関する事
	<input type="checkbox"/> (5) 状況の把握	<input type="checkbox"/> (5) 状況の把握	<input type="checkbox"/> (5) 状況の把握	<input type="checkbox"/> (5) 認知や行動の手がかりとなる概念の形成に関する事	<input type="checkbox"/> (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事	<input checked="" type="checkbox"/> (5) 状況に応じたコミュニケーションに関する事

具体的な指導内容を考える上で、関係する項目を選んでいきます。

具体的な指導内容を考える上で、核となる項目を選び、それに関係する項目も選定していきます。



①実態把握（情報収集・整理）



②指導すべき課題の整理



③指導目標の設定



④項目の選定



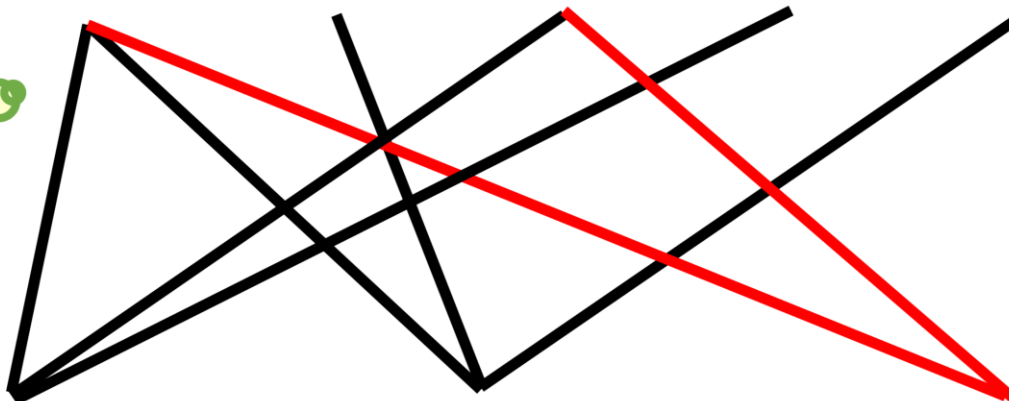
⑤具体的な指導内容の設定



最後に、具体的な指導内容の設定をします。



チェックした項目同士を関連させて、具体的な指導内容を考えていきます。



具体的な指導内容	・落ち着いた環境で、タイムタイマーを使って20分間集中して学習に取り組む。	・小集団の活動の中で、最後まで友だちや先生の話しを聞く。	・タブレットを活用し、漢字の学習に取り組む。
指導場面	・自立活動 ・各教科	・自立活動 ・各教科 ・休憩時間	・自立活動 ・各教科



先ほどチェックした項目同士を関連させて、具体的な指導内容を考えていきます。具体的な指導内容は、子どもを主体として書きます。

例えば、心理的な安定、環境の把握を関連させ、「タブレットを活用し、漢字の学習に取り組む」という指導内容を設定します。子どもの得意なことを取り入れながら、苦手な部分を伸ばしていけるような指導内容を考えていきます。例にあげている子どもは、漢字の読みに困り感があります。好きなタブレットを活用することで、苦手な漢字の学習に取り組むことができるのではないかと考えます。そして、集中して取り組む力も身につけていきたいと考えます。

自立活動は、学校の教育活動全体を通じて行うことが基本です。指導場面の欄を設けて、記入しておくこと、より意識して指導できると思います。

# 支援グッズの活用



タイムタイマー



ついたて

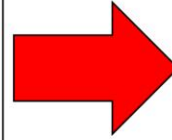


手順BOX

指導の際には、支援グッズを活用するのが有効的です。タイムタイマーは、時間を見える化するものです。終わりが分かりやすいため、自分で最後まで学習ができた達成感を持つことが期待できます。衝立は、学習環境を構造化し、環境の整理ができます。手順BOXは、子どもが主体的に課題を進めていくことができるBOXです。課題の量も見えるので、見通しが持てます。先ほどお伝えした、「自立」とは、主体的に力を発揮することです。子どもたちが主体的に活動できるように支援グッズを活用していただけたらと思います。



- |               |                |
|---------------|----------------|
| (1) にわにきをうえる。 | (9) 六だいのくるま。   |
| (2) 大きなこえ。    | (10) 七いろのにじ。   |
| (3) 小さいむし。    | (11) 八じまでにおきる。 |
| (4) 一ばんになる。   | (12) 九さいになる。   |
| (5) ニかいだてのいえ。 | (13) 十えんのおつり。  |
| (6) 三にんのへや。   | (14) 大じなたからもの。 |
| (7) 四がつうまれ。   | (15) 一ねんせい。    |
| (8) 五じかんめ。    | (16) 車がくる。     |



- |                   |             |                |                |                   |
|-------------------|-------------|----------------|----------------|-------------------|
| ⑤                 | ④           | ③              | ②              | ①                 |
| ニか<br>いだての<br>いえ。 | 一ばん<br>になる。 | 小<br>さいむ<br>し。 | 大<br>きなこ<br>え。 | にわに<br>木を<br>うえる。 |

・たくさんあるな～  
・どこに書くのかな～



・5問ならできるかも！  
・□に書けばいいんだ！



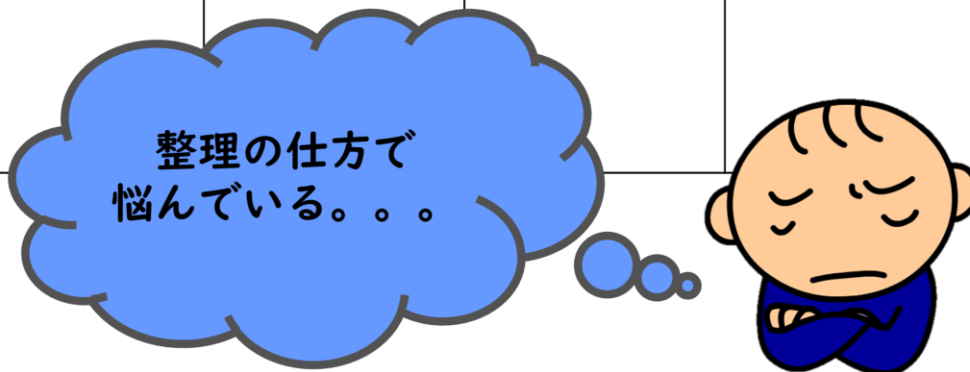
プリントに提示する情報量や書く場所をわかりやすく提示することを見直してもいいかもしれません。

# 実態把握で困っていませんか？



指導のプロセスについてお話してきましたが、実際、自立活動の進め方に困難を示されている先生方の声もお聞きします。

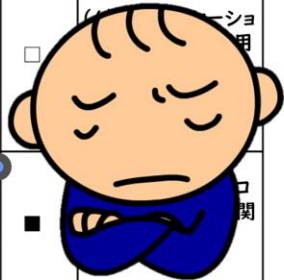
健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション



やることは分かっているんだけど、方法に悩んでいる。この実態は、心理的な安定なのかな？人間関係の形成なのかな？整理の仕方であ悩んでいませんか？

選 定 さ れ た 項 目	1 健康の保持		2 心理的な安定		3 人間関係の形成		4 環境の把握		5 身体の動き		6 コミュニケーション	
	<input type="checkbox"/>	(1) 生活のリズムや生活習慣の形成に関する事	<input checked="" type="checkbox"/>	(1) 情緒の安定に関する事	<input checked="" type="checkbox"/>	(1) 他者とのかわりの基礎に関する事	<input type="checkbox"/>	(1) 保有する感覚の活用に関する事	<input type="checkbox"/>	(1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事	<input type="checkbox"/>	(1) コミュニケーションの基礎能力に関する事
	<input type="checkbox"/>	(2) 病気の状態の理解と生活管理に関する事	<input checked="" type="checkbox"/>	(2) 状況の理解と変化への対応に関する事	<input checked="" type="checkbox"/>	(2) 他者の意図や感情の理解に関する事	<input type="checkbox"/>	(2) 感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事	<input type="checkbox"/>	(2) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関する事	<input type="checkbox"/>	(2) 言語の需要と表出に関する事
	<input type="checkbox"/>	(3) 身体各部の状態の理解と養護に関する事	<input type="checkbox"/>	(3) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関する事	<input checked="" type="checkbox"/>	(3) 自己の理解と行動の調整に関する事	<input type="checkbox"/>	(3) 感覚の補助及び代行手段の活用に関する事	<input type="checkbox"/>	(3) 日常生活に必要な基本動作に関する事	<input type="checkbox"/>	(3) 言語の形成と活用に関する事
	<input type="checkbox"/>	(4) 障害の特性の理解と生活環境の調整に関する事	<input type="checkbox"/>							(4) 身体移動に関する事	<input type="checkbox"/>	(4) コミュニケーションに関する事
	<input type="checkbox"/>	(5) 健康状態の維持・改善に関する事	<input type="checkbox"/>					(5) 概念の理解に関する事	<input checked="" type="checkbox"/>	(5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事	<input checked="" type="checkbox"/>	(5) コミュニケーションに関する事

選定の項目で悩んでいる。。。



どの項目に当てはまるのか??悩んでいませんか?

3 人間関係の形成。

(1) 他者へのかかわりの基礎に関すること。

〈人への関心〉

	A.	B.	C.	D.	E.	F.	G.	H.
①呼名や呼びかけに対して、ほとんど表情の変化が見られない。	○	○	○	○	○	○	○	○
②常に目を見て話している。声や顔は相手を見ながら話している。	○	○	○	○	○	○	○	○
③特定の大人以外のかかわりを嫌がる。	○	○	○	○	○	○	○	○
④大人のかかわりはむねが、子供同士のかわりはほとんど見られない。	○	○	○	○	○	○	○	○

〈気持ちの共有〉

①特定の人への愛着行動が見られない。	○	○	○	○	○	○	○	○
②なかなか目が合いにくい。振りかいても反応が弱くこちらを向いてくれない。	○	○	○	○	○	○	○	○
③相手の指さした物や方向を見られない。	○	○	○	○	○	○	○	○

〈身近な人への要求〉

①買った物にも助けを求めずにあきらめたり、パニックを起こしたりする。	○	○	○	○	○	○	○	○
②要求を人に伝えることができない。	○	○	○	○	○	○	○	○

(2) 他者の意図や感情の理解に関すること。

〈感情の理解〉

①自分の気持ちが表現できない。注意されても笑っている。	○	○	○	○	○	○	○	○
②他人の表情を理解すること難しい。	○	○	○	○	○	○	○	○
③相手の意見を聞かずに、自分の意見ばかりを言い続ける。	○	○	○	○	○	○	○	○
④ごっこ遊びや集団ゲーム等が長続きせず、トラブルになる。	○	○	○	○	○	○	○	○

(3) 自己の理解と行動の調整に関すること。

〈自己認識〉

①「何もできない」と言って、しない。	○	○	○	○	○	○	○	○
②自分のことについて話することが苦手である。	○	○	○	○	○	○	○	○
③自己評価が低すぎる。または高すぎる。	○	○	○	○	○	○	○	○
④できないことをできると言ったり、しようとしたりする。	○	○	○	○	○	○	○	○

〈行動の調整〉

①「はいはい」と何にでも手をあげる。	○	○	○	○	○	○	○	○
②力の加減をつけられない。	○	○	○	○	○	○	○	○
③大人や友達とかかわろうとするが、かわり方が適切でない。	○	○	○	○	○	○	○	○
④「待ってね」後でねと言われても自分のしたいことを我慢できない。	○	○	○	○	○	○	○	○
⑤細かいことにこだわりすぎる。	○	○	○	○	○	○	○	○
⑥場面に関係のない話をする。気持ちの切り替えができない。	○	○	○	○	○	○	○	○
⑦要求がかなわず、いらいらした時に人にあたってしまう。	○	○	○	○	○	○	○	○

(4) 集団への参加の基礎に関すること

〈集団活動への参加〉

①集団の中に入りたがらない。	○	○	○	○	○	○	○	○
②集団の活動になると不安定になったり、泣いたり大声を出したりする。	○	○	○	○	○	○	○	○
③自分がいるべき場所、集団や仲間が分からない。	○	○	○	○	○	○	○	○
④集団の中でうろつき、落ち着かない。入っても誰ともかわからない。	○	○	○	○	○	○	○	○
⑤集団の中でトラブルを起こしやすい。	○	○	○	○	○	○	○	○

〈集団に参加するための手順やきまりの理解〉

①集団のルールや公共の場所でマナーを守ることが苦手である。	○	○	○	○	○	○	○	○
-------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---

← 幼児・児童生徒の名前

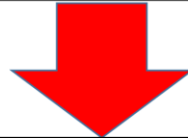
実態把握シートの活用

先日の協議会でお渡しした、実態把握シートをご覧ください。昨年度、本校職員が、地域の小学校での研修を通して、作成した実態把握シートです。このシートの項目を見て、子どもたちのどのような困り感に目を向ければよいか分かってくると思います。実態を把握することで、目標設定がしやすくなります。このシートを参考にして自校の実態把握シートを作成していただけたらと思います。

# 評価も具体的に！！

## めざす子どもの姿

- ・教師と本児で約束した時間の間は、集中して学習に取り組むことができるようになる。



**Check !**

## 評価

- ・毎時間、教師と本児で活動時間を決め、タイムタイマーで終わり時間を視覚化することで、その間は集中して学習に取り組むことができるようになってきた。



最後に、評価です。具体的に評価をします。具体的に評価をすることで、次のステップが見えやすくなってくると思います。PDCAサイクルの中で修正していくことも大切です。

# 地域の小学校での実践



ここからは、昨年度の地域の小学校での実践をお伝えします。



## 学習環境（衝立・間仕切り）



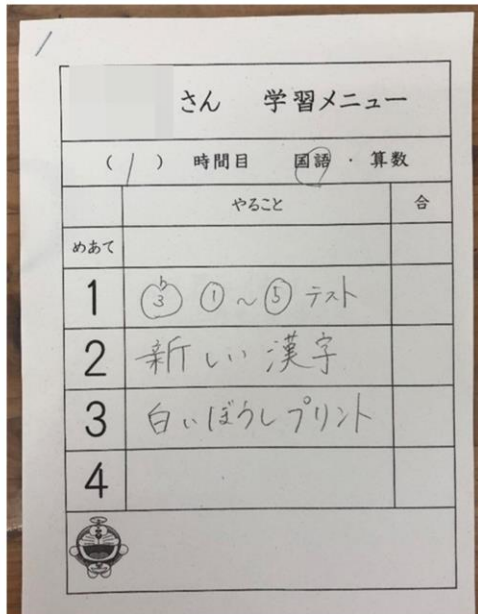
まず始めに、学習環境についてお伝えします。支援学級では、異学年が同じ空間で学習することが多いです。一人一人が授業に集中して、学習に取り組めるように学習環境を整えることが大切です。この写真は、先日研修で紹介したプラスチック段ボールで作成したついたてを使用しています。



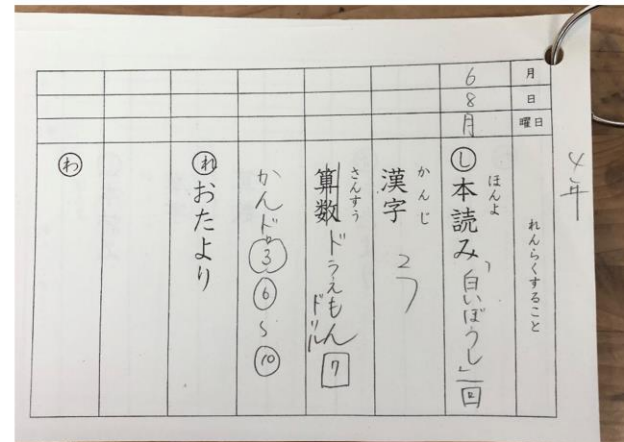
# 時間割表 (一人ずつあります)



# 学習メニュー (毎時間作成)



# 連絡帳 (毎日書く)



・何をするのか  
・いつ終わるのかが分かりやすい

## 活動に見通しを持って取り組むためのスケジュール

次に、活動に見通しを持って取り組むことができるようなスケジュールの紹介です。一日の予定を示す時間割表、一時間に取  
り組む内容を示した学習メニュー、次の日の予定表を個々に応じて毎日作成しています。先の見通しがあることで、子どもた  
ちは安心して、学校生活を送ることができます。



- ・座面上での前ズレ防止
- ・骨盤の左右側の安定性を高める

## 腹筋の力が弱く、姿勢が崩れてくる児童の 姿勢保持のための支援教材



これは、腹筋の力が弱く、学習時に姿勢が崩れてくる児童の姿勢保持のための支援教材です。この教材を使用したことで、前にずれることが少なくなり、安定して椅子に座ることができるようになりました。また、姿勢が安定することで、学習に集中できる時間も長くなりました。段ボールを組み合わせて簡単に作れますので、ぜひ参考にしてみてください。

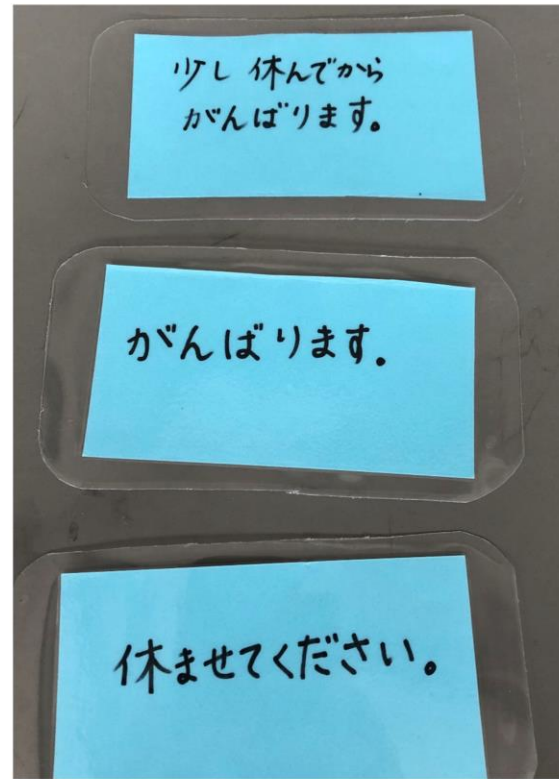
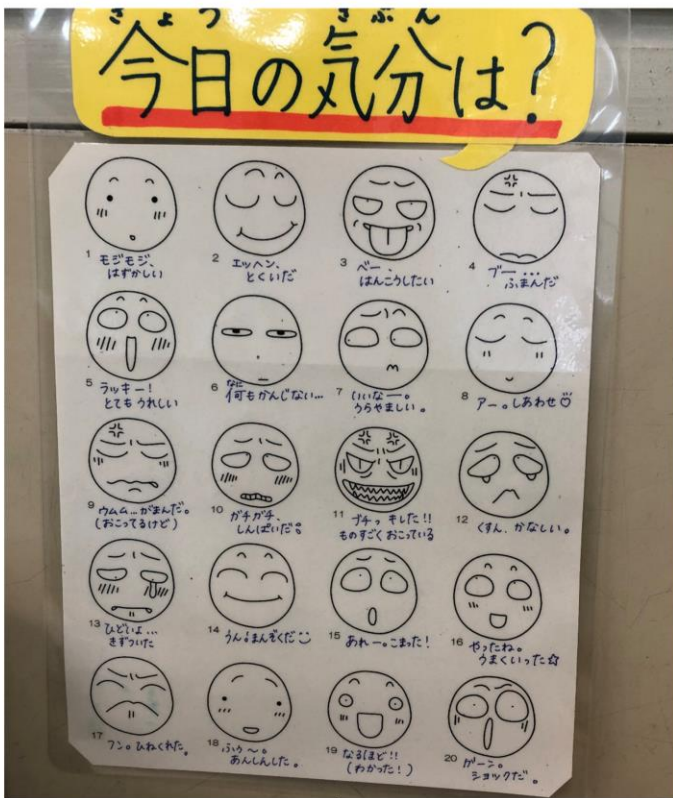
# 机と椅子の高さを合わせる



## 正しい姿勢が集中力を高める



先ほどの支援教材を使用した時の効果からも分かるように、正しい姿勢で学習に向かうということは、集中力を高めるということにもつながります。これは、支援学級の児童生徒だけでなく、どの児童生徒にも大切なことだと思います。足が浮いていたり、机の高さが合っていないと、正しい姿勢で座ることは難しいです。



## 情緒の安定 (自分の気持ちを相手に伝える)



これは、自分の気持ちを相手に伝えることが難しい児童への教材です。言葉ではうまく伝えられず、「なんかしんどい」「いらいらする」等の気持ちをイラストやカードで伝えられるように、教室に掲示したり、児童の机に置いたりしていました。特に右側のカードは、情緒学級に在籍する児童が授業中に担任の先生へ渡すことで、自分の気持ちを分かってもらえたという安心感にもつながり、とても効果があったように思います。

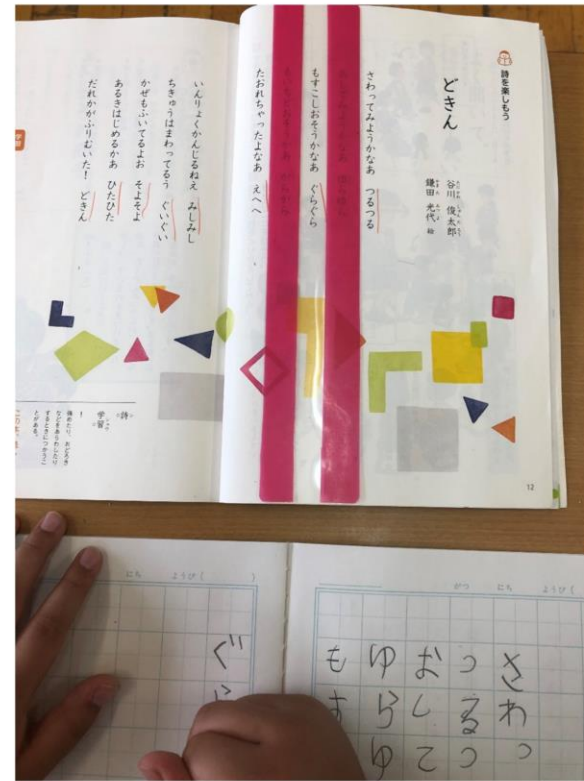


モチベーションが  
高まるように  
子供に応じて  
シールやスタンプを  
準備(^-^)

## 健康の保持 (生活リズムを整えて、毎日登校する)



登校しにくい児童への支援として、シールやスタンプを準備し、それを励みに登校することができました。ただ、シールを貼るだけでなく、生活リズムを見直して毎日登校することの大切さについても合わせて指導しています。



## リーディングルーラー

最後に、リーディングルーラーの紹介です。これは、本読みが苦手で、読み飛ばしや、どこを読んでいるか分からなくなった  
りする児童の支援教材で、これを使用することにより、読む場所が分かり、正しく読めるようになりました。

## 参考資料

- ・「自立活動って何だろう」理解編、実践編 Ver.2  
島根教育センター  
教育相談スタッフ 特別教育セクション

HPに掲載されています。

とてもわかりやすく整理されているので、  
ぜひ参考にいただければと思います。



以上で自立活動についての話を終わります。